

か かた てび
～書き方の手引き～




 は
 おな　　へ　　なか
 同じ部屋の中！

ま	そ	と	「		な	ま	う	も
し	の	、	こ		ぜ	す	こ	し
た	と	友	こ		な	。そ	が	、
。	き	達	で		ら		で	わ
何	の	に	魔		：		き	た
度	主	言	法		：		た	ら
挑	人	わ	を		：		、	主
戦	公	れ	使		：		き	人
し	の	て	え		：		つ	公
て	気	し	な		：		と	と
も	持	ま	い		：		〇	同
で	ち	い	だ		：		〇	じ
き	に	ま	め		：		を	よ
な	、	し	。		：		す	う
い	と	た	。		：		る	魔
と	と	わ	。		：		思	法
	共	た	は		：		い	を
	感	し	は		：			使
	し				：			

句読点 (。)(、) は
みぎうえ
右上に書く。

ぎょう した
行の下
句読点 (。)(、) は
いちばんうへ
一番上の部屋に
か
書かない。一番下
いちばんした
の部屋に一緒に
いっしょ
入れる。

かいわぶん した つづ
会話文の下に続けて
か
書かない。

にぎょう
せりふが二行にまたがるときは？

ちが
「」と『』の違いは？

あ
1マス空けても
あ
空けなくても
よい！

な
「」の中にさらに
か
カギカッコを書く
ばあい つか
場合を使う。

6 書くときのコツをしましょう。

- 題名は、自分の書いた感想文を一言で表すものです。題名から、どんな感想文なのか
伝わるようにしましょう。

- 書き出しを工夫してみましょう。

• 本を読んだ感想から書く。

• 本を読んだきっかけから書く。

• 本を読んで自分も同じような経験をしたことがあったら、そのことから書く。

• 会話文から書く。

• 疑問に思ったことから書く。

• 一番心に残った場面の文章から書く。

わたしは、～
わたしが、～
主語を「わたし」に
すると自分の感想文
になるよ！

